

補助金の交付状況に係る調書【平成30年度交付分】

補助金の名称		犬山踊芸祭開催事業補助金		市の担当部課	教育部文化スポーツ課	
				問い合わせ先	0568-44-0353	
補助金の交付を受けた補助事業者の名称		犬山踊芸祭開催事業補助金		代表者名	会長 田中 力	
関係規定	法令	—		条例	—	
	規則等	犬山市補助金等交付規則		要綱	犬山市青少年健全育成事業補助金交付要綱	
補助事業者の選定方法（公募又は特定団体）		特定団体への補助	補助開始年度	平成 22年度	補助終了年度	未設定
特定団体への補助の理由（公募で選定しない理由）		犬山踊芸祭は、鳴子踊りを通じて青少年の健全育成に寄与し、かつ、地域の活性化に貢献している事業であるため。				
市が補助金を交付する公益上の必要性（何をどうしたいのか）		犬山踊芸祭は、若者に表現の場を提供し、青少年の健全育成に資する事業となっている。団体の育成を図り、持続的な活動を支援するために、当該補助金の交付は必要である。				
補助金の額 ()は一般財源の額		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度予算	
		300,000 円	300,000 円	300,000 円	300,000 円	
		(300,000 円)	(300,000 円)	(300,000 円)	(300,000 円)	
市の補助金を使って実施した事業の内容		鳴子踊りの祭典である犬山踊芸祭を、令和元年6月1日(土)、2日(日)に実施した。				
補助金の使途		補助事業者の会計全体の決算額(支出)		4,550,955 円		
		うち補助事業全体の経費		4,550,955 円		
		うち補助対象経費		4,550,955 円		
		補助対象経費の内訳		会場設営費(メインステージ、テント等)		1,739,920 円
				舞台費		795,503 円
				会場費		45,150 円
				広告費(のぼり代等)		98,226 円
				印刷費(ポスター・チラシ・冊子)		235,764 円
警備員、シャトルバス借上料、通信費等				1,594,488 円		
補助額の算出方法		補助率、補助額		定額300,000円		
		補助限度額		未設定		
		精算の有無(変更交付)	無	その理由	実績報告書において、交付の目的における支出内容を確認している。	
補助金を交付して市が得たメリット(何がどうなったのか)		犬山踊芸祭を開催することで、鳴子踊りの普及を図り、青少年の居場所づくりや非行防止の一助となった。また、メディアでも当事業が取り上げられ、犬山市の知名度の向上と交流人口の拡大に寄与した。 チーム約3,000人、92団体が参加した。				
その他参考事項		補助事業者の会計全体の余剰額(繰越額)		0 円		
		うち補助事業全体の余剰額(繰越額)		0 円		
		補助事業者が補助金とは別に市から委託業務を請け負っているかの有無		無		

※平成30年度の実績に基づき作成しています。